

# 診療情報の提供および個人情報の保護に関するお知らせ

当院は、患者様への説明と納得に基づく診療（インフォームド・コンセント）および個人情報の保護に積極的に取り組んでおります。

## 診療情報の提供

- ◆ご自身の病状や治療について質問や不安がおありになる場合は、遠慮なく、直接、担当医師または看護師に質問し、説明を受けてください。この場合は特別の手続きは必要ありません。

## 診療情報の開示

- ◆ご自身の診療記録の閲覧や謄写をご希望の場合は、遠慮なく「総合案内」に開示をお申し出ください。開示・謄写には実費をご負担いただきます。ご了承ください。

項目			料金（10%税込）
診療情報開示	①	申請基本料（手数料）	5,500円/回
	②	閲覧	無料
	③	要約書	5,500円/回
	④	診療記録謄写・プリント	44円/枚/片面
	⑤	画像記録等謄写・プリント	1,100円/枚
	⑥	医師立会い（口頭）説明	5,500円/時間

## 個人情報の内容訂正・利用停止

- ◆個人情報とは、氏名・住所等の特定の個人を同定できる情報を言えます。
- ◆当院が保有する個人情報（診療記録等）が事実と異なるとお考えになる場合は、内容の訂正・利用停止を求めることができます。担当窓口にお申し出ください。調査の上、対応いたします。

## 個人情報の利用目的

- ◆個人情報は以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて利用いたしません。
- ◆診療のために利用する他、施設運営、教育・研修、行政命令の遵守、他の医療・介護・福祉施設との連携等のために、個人情報を利用することがあります。また、外部機関による評価、学会や出版物等で個人名が特定されない形で報告することがあります。詳細は別紙に記載します。
- ◆当院は、研修・養成の目的で、研修医および医療専門職の学生等が、診療、看護、処置などに同席する場合があります。

## ご希望の確認と変更

- ◆治療、外来予約（診察・検査・処置・指導等）や入院予定の変更、療養給付・保険証等の確認等、緊急性を認めた内容について、患者様ご本人に連絡する場合があります。ただし、事前に各科外来窓口または受付までお申し出があった場合は、連絡致しません。
- ◆外来等での呼び出し時に氏名の呼び出し（呼名）を望まない場合には、お申し出ください。ただし、事故防止・安全確保のために、呼名する場合があります。
- ◆一度出されたご希望を、いつでも変更することが可能です。お気軽にお申し出ください。

## 相談窓口

- ◆ご質問やご相談は、各部署責任者または個人情報保護相談窓口として1階患者相談窓口をご利用ください。

## 《別紙：通常の業務で想定される個人情報の使用にあたって》

### 【患者様等への医療の提供に必要な使用について】

#### 〔当院での使用〕

- ・当院で患者様等（検診・健診を含む）に提供する医療
- ・医療保険事務
- ・患者様に係る管理運営業務のうち、
  - －会計・経理
  - －質向上・安全確保・医療事故あるいは未然防止等の分析・報告
  - －患者様等への医療サービスの向上

#### 〔他の事業所等への情報提供〕

- ・当院が患者様等に提供する医療のうち、
  - －他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等との連携
  - －他の医療機関等からの照会への回答
  - －患者様等の診療等に当たり、外部の医師等の意見・助言を求める場合
  - －検体検査業務の委託・その他の業務委託
  - －家族等への病状説明
- ・医療保険事務のうち、
  - －保険事務の委託
  - －審査支払機関又は保険者へのレセプトの提出
  - －審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- ・事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等へのその結果の通知
- ・医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門団体、保険会社等への相談又は届出等
- ・第三者機関への質向上・安全確保・医療事故対応・未然防止等の為の報告

### 【上記以外の使用について】

#### 〔当院での使用〕

- ・医療機関等の管理運営業務のうち、
  - －医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
  - －医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・栄養士・医療事務等の学生実習への協力
  - －医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・栄養士等の教育・研修
  - －症例検討・研究および臨床病理検討会等の検討
  - －研究、治験および市販後臨床試験の場合。関係する法令、指針に従い進める。
  - －治療経過および予後調査、満足度調査や業務改善のためのアンケート調査

#### 〔学会・医学雑誌等への発表〕

- －特定の患者・利用者・関係者の症例や事例の学会、研究会、学会誌等での報告は、氏名・生年月日・住所等を消去することで匿名化する。匿名化困難な場合は、本人の同意を得る。

#### 〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ・当院の管理運営業務のうち、
  - －外部監査機関への情報提供
  - －当該利用者に居宅サービスを提供する他の居宅サービス事業者や居宅介護支援事業所等との連携（サービス担当者会議等）、照会への回答

2025年4月1日  
座間総合病院 病院長

## 患者さんへ

## 専門医制度と連携したデータベース事業について

病院医療の崩壊や医師の偏在が叫ばれ、多くの学会や団体が医療再建に向けて新たな提言を行っていますが、どのような場所でどのような医療が行われているかが把握されていない状況では、患者さん目線の良質な医療は提供できません。そこで、関連する多くの臨床学会が連携し、わが国の医療の現状を把握するため、2010年に『一般社団法人National Clinical Database』（以下、NCD）を立ち上げ、データベース事業を開始することになりました。この法人における事業を通じて、患者さんにより適切な医療を提供するための専門医の適正配置が検討できるだけでなく、最善の医療を提供するための各臨床現場の取り組みを支援することが可能となります。何卒趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 National Clinical Database 代表理事

池田 徳彦

### 1. 本事業への参加について

本事業への参加は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

### 2. データ登録の目的

患者さんに向けたより良い医療を提供する上では、医療の現状を研究し、把握することは重要です。NCDでは、体系的に登録された情報に基づいて、医療の質改善に向けた検討を継続的に行います。NCD参加施設は、日本全国の標準的成績と対比をする中で自施設の特徴と課題を把握し、それぞれが改善に向けた取り組みを行います。国内外の多くの事例では、このような臨床現場主導の改善活動を支援することにより、質の向上に大きな成果を上げています。また、各領域（学会等）の主導のもと、収集されたデータを活用して医療の質向上に向けた研究を行います。

### 3. 登録される情報の内容

登録される情報は日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法、短期および長期の経過、医事請求情報等となります。これらの情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め（「個人情報保護に関する法律」、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「医療・介護関連事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等）を遵守しています。また、NCDはプライバシーマーク付与事業者として堅実な情報管理を行っています。登録されたご自身のデータをご覧になりたい又は修正されたい場合は、受診された診療科にお問い合わせ下さい。

### 4. 登録される情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の治療成績向上ならびに皆さまの健康の向上に役立てるために、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。また、各領域が主導して医療の質向上を目的とした学術研究のために活用されます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形で、NCDがデータを公表することは一切ありません。なお、治療成績を適切に評価するために、診療科間および施設間での症例データを連携した研究が行われる場合があります。情報の公開にあたっては、NCD内の委員会および各領域の委員会内で十分議論し、そこで承認を受けた情報のみが公開の対象となります。

お問い合わせについては受診された診療科またはNCD事務局までご連絡下さい。



National Clinical Database 事務局

URL: <https://www.ncd.or.jp/contact/>

# 大腿骨近位部骨折の治療を受けられる患者様へ

「日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指した

データベースの作成」研究実施について

研究機関 座間総合病院 整形外科

研究責任者 黒田 晃義（整形外科部長）

研究分担者 整形外科在職医師

特定非営利活動法人日本脆弱性骨折ネットワーク 荒井 秀典（理事）

大腿骨近位部骨折の保険診療では、厚生労働省が『関係学会等と連携の上、手術適応などの治療方針の決定及び術後の管理などを行っていること』を求めています。

この『関係学会等と連携』とは、令和4年3月31日の事務連絡で『日本脆弱性骨折ネットワークのレジストリーに症例を登録することを指す』と明記されています。そこで座間総合病院整形外科もこのプロジェクトに参加し、大腿骨近位部骨折の患者さんの診療情報をデータベースに登録します。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守します。

患者さんの情報の登録について、ご了承いただけない場合は、担当医師あるいは座間総合病院医事課書類チームにご連絡いただくか、あるいは撤回申請書を当院総合案内窓口に提出して下さい。

## 1. 研究の目的及び意義

この研究の目的は、大腿骨近位部骨折の治療経過に関する大規模データベースを作り上げることです。「骨折」は介護を要する原因となることもあり、高齢化が進行するなか脆弱性骨折（骨が弱くなり軽微な外力で発生する骨折）への対策が求められています。大腿骨近位部骨折の治療に関する全国規模のデータベースを作り上げ、地域、病院間、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討を行うことは、この骨折治療の有効な治療法や二次骨折予防対策を科学的に確立するために大変有用です。

座間総合病院整形外科は、日本脆弱性骨折ネットワークが作りあげるこの大規模データベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究実施期間

2022年7月1日以降

### 2) 研究対象者

上記期間内に座間病院整形外科で大腿骨近位部骨折の治療を受けられた方を対象とします。

### 3) 研究方法

インターネット上のデータベースに下記の情報を登録します。

下記の情報は、当院に通院中の方は診療録等から収集しますが、すでに通院を終了されている場合には、当院の担当者より患者様、ご家族様に問い合わせをさせていただく場合がございますので、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

### 4) 使用する資料・情報

◇研究に使用する試料：無し

◇研究に使用する情報

- ▶患者基本情報：(匿名化のため新たに作成した) 患者番号、性別、受傷時年齢
- ▶受傷前情報：住居(自宅、施設など)、歩行状況
- ▶受傷時情報：受傷日時、骨折側、骨折のタイプ、病的骨折有無、認知機能、骨粗鬆症治療
- ▶入退院時情報：受診日時、治療法、全身状態分類(ASA-grade)、手術の日時、麻酔、併存症・合併症(褥瘡、肺梗塞、内科治療)、入院期間、退院先、退院日時、骨粗鬆症治療、予後
- ▶入院日から30日目、120日目、365日目の情報：予後、歩行状況、再入院の有無、再手術の有無と種類、住居、骨粗鬆症治療

これらの情報は、患者さん個人が特定できないように、完全に匿名化されて日本脆弱性骨折ネットワークのデータセンターへ提出されます。

## 3. 情報の保存

登録されたデータはデータセンター(日本脆弱性骨折ネットワーク)の責任下に保存されます。保存期間は本研究終了(あるいは中止)後5年間とします。

#### 4. 研究成果の取扱い

ご提供いただいた情報は、患者さんの個人情報が変わらないようにした上で、診療報酬改訂に向けた実態調査などの政策対応や学術論文公表などに日本脆弱性骨折ネットワークが用います。結果の公表については、日本脆弱性骨折ネットワークのホームページなどで公開します。 (<https://ffn.or.jp/about/>)

#### 5. 情報の二次利用について

本研究で収集された情報を、他の目的の研究に使用する際には、新たな研究計画書を作成し、倫理審査委員会での審査で承認を得てからインフォームド・コンセントの範囲で提供を行います。その場合も提供されるデータは、データセンターに登録・保管されている情報で、研究に参加して下さった患者さんの個人を特定できる情報は含まれていません。

#### 6. 研究の資金源、研究機関及び個人の研究に係る利益相反

本研究の資金は日本脆弱性骨折ネットワークの資金を利用します。

この研究に関わる当施設のすべての関係者は、当施設の利益相反行為防止規則に則り、本研究を適正かつ円滑に遂行します。

#### 7. 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、患者様の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、担当医あるいは下記にお申し出いただくか、あるいは撤回書を当院総合案内窓口に提出して下さい。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、お申し出が既に解析を開始 結果公表等の後になった場合には当該措置を講じることが困難な場合もございますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

連絡先：座間総合病院 整形外科 黒田晃義医師もしくは医事課医事課書類 諏江・碓井  
(046-251-1311 (代表)) (平日：9時～17時)

## 8. 研究組織

座間総合病院 整形外科

〒252-0011 神奈川県座間市相武台 1-50-1

Tel. 046-251-1311 (代表)

特定非営利活動法人 日本脆弱性骨折ネットワーク

日本脆弱性骨折ネットワーク事務局

〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎 761 番地

研究責任者

理事・荒井秀典 : 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長

研究分担者

理事長・澤口毅 : 新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター骨盤・関節再建部長  
福島県立医科大学外傷学講座 教授

監事

松下 隆 : 南東北グループ外傷統括部長・新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター長  
福島県立医科大学外傷学講座 特任教授

理事

山本 智章 : 新潟リハビリテーション病院 病院長

以上

## 臨床研修に対する ご理解とご協力のお願い

当院は医師の協力型臨床研修病院  
(厚生労働省認可) となっております。

院内の教育スタッフによる指導・監督・事後  
のチェックを前提条件に研修医が診療にあ  
たっております。

今後の医療を担う研修医の臨床研修に  
何卒ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

社会医療法人 ジャパン メディカルアライアンス

座間総合病院 病院長

2025年4月1日